

事前アンケートでの評価と 意見・質問への回答

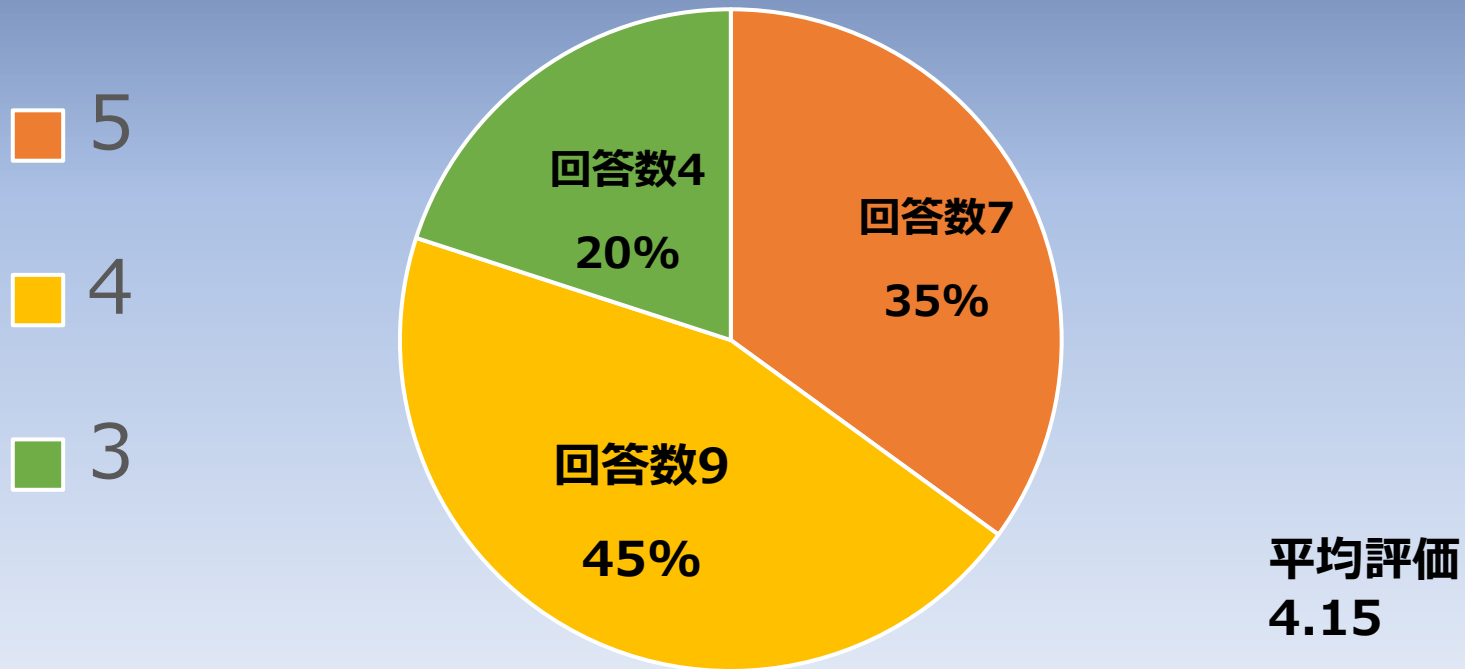
茨城大学工学部学務グループ

質問文につきましては、
個人を特定できるものや長文なものを、
一部編集しております。
ご了承くださいますようお願いいたします。

※テキスト形式で記載されているQAは、
事前アンケートへの回答です。
イラスト入りで記載されているQAは、
懇談会当日に出た質疑応答です。

事前アンケートでの評価内容

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム）は
5段階評価（5が一番良い）でいくつですか？



※評価の「2」・「1」については、回答なし。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：授業の時間割の作成には、どのような要素が考慮されているのですか。

A：履修案内に載っている学科課程表の開講時期に従って学年・学期の時間割に配置されます。そして、曜日や時間帯が偏らないように、できるだけ多くの科目を履修できるように配慮されるものと思いますが、同時に、異なる学年の必修科目が重ならないようにとか、学生・教員のキャンパス間移動のための空き時間とか、大学院の時間割との関係なども考慮されていると思います。

細かい配慮事項やそれらの優先順位は学科によって異なるかもしれません。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム）に関して

Q：学部3年の5月頃には、進路を決定する必要があることから、研究室の仮配属の時期を早める、もしくは研究実践を3年次の1~2Qに持ってくるのがよいのではないか。

A：進路決定時期が早まってきていることは承知していますので、心情的には理解しています。一方で、進路決定や研究実践を行うために十分な基礎的な学修も早める必要があり、これはカリキュラムの改変にかかる割と大きな話です。今回のご意見を踏まえて学部で検討する機会を設けたいと思います。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：大学院共通科目について、倫理・英語・社会理解・情報・体験の5カテゴリから1単位ずつ大学院共通2単位、研究科共通3単位の内訳で履修する理由が理解できない。学びの幅を広げるためにも、この内訳の制限は必要ないのではないか。

A：ご意見は、5つのカテゴリから選択すべきということは理解できるが、大学院共通と研究科共通の両方から選択せよという指示は理解できないということでしょうか。タテ糸とヨコ糸が絡まったややわかりにくい履修指示となっていると思いますが、大学院共通科目と研究科共通科目では対象学生（の学修背景）が異なっているので、大学（院）としては是非両方の科目を履修してほしいと考えています。また、単位数はあくまでも最低限の数なので、それにぴったり合わせる必要はありません。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

**Q：学部二年次開講の講義が多いと感じる。一年次開講の講義を増やした方が
良いのでは。**

**A：基盤科目は抽選に外れて履修できないことがあるため、一年次の受講科目数が
少なくなった学生もいると思います。令和6年度よりオンラインの活用や大型
化等の全学教育改革を実施しており、これにより改善することを期待していま
す。**

**専門科目は、低学年で学んだ基礎知識を高学年で発展させるような知識の積
み上げが必要であること、また年間の履修単位数に上限があるため、単純に一
年次開講を増やすことはできず、慎重な検討が必要です。各学科ではFD
（Faculty Development）を定期的に行うなどカリキュラムの見直しをす
る機会があります。その結果、例えば、電気電子システム工学科では令和6年度
入学者から電気回路の科目を一年次前期から開講するようになりました。**

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：外部講師の活用も考慮し、現在の業界や現場のリアルな状況について学べる機会があると、実践的な知識の習得につながると思う。

A：はい、そのとおりです。各学科・専攻で積極的に取り入れられているものと思います。特に足りないと思われる部分があれば、具体的に指摘してもらえるとありがたいです。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：2025年度入学生からは、材料工学プログラムと化学・生命工学プログラムの概ねの人数比はあらかじめ履修案内等で約束し、進級人数に対する受け入れ可能人数に応じて微調整のみを行うという方針に変えるべきだと思います。

A：入学時の学科ガイダンスで概ねの人数比について説明していますので問題ないと考えています。



入学時に説明された配属先の人数の比率を、3年次の時点で変更されてしまうと、学生は、履修計画を練って成績の合格ラインを考えているので大変困ります。

今後は人数比を履修案内に書いて変更がないようにお願いしたいです。

今年は、物質科学工学科の2つのプログラムの人数比が逆転し、とても困りました。



3年次までに行う希望調査では配属プログラムの人数比が逆転することはありますが、入学時に説明した人数比を変更することはありません。おそらく希望調査の人数と混同されたのではないかと思います。誤解が生じたのであれば、今後はより詳しく説明していきたいと思います。ご意見をいただきありがとうございました。



学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：実験科目が非常にもったいないです。時間数が明らかに不足していると思います。

A：実験の性質上、午後（3講時以降）からの開講になります。また、1年次の授業を再履修できるためには実験科目との重複を避ける必要があります。水戸の授業を担当する教員も複数いるため、これらの調整を行うと実験科目は週1日の開講が限度です。

学科（専攻）の教育内容（カリキュラム） に関して

Q：新カリキュラムに関し、疑問があります。機器分析化学IIが化学・生命工学プログラムのプログラム必修になっている点です。多くの学生は、前学期の段階では、プログラム必修の科目はそのプログラムの学生以外履修禁止と認識します。しかし、これは、分析技術に関する重大な紹介であるため、材料コースの学生が不要であるとは到底言えないと思います。

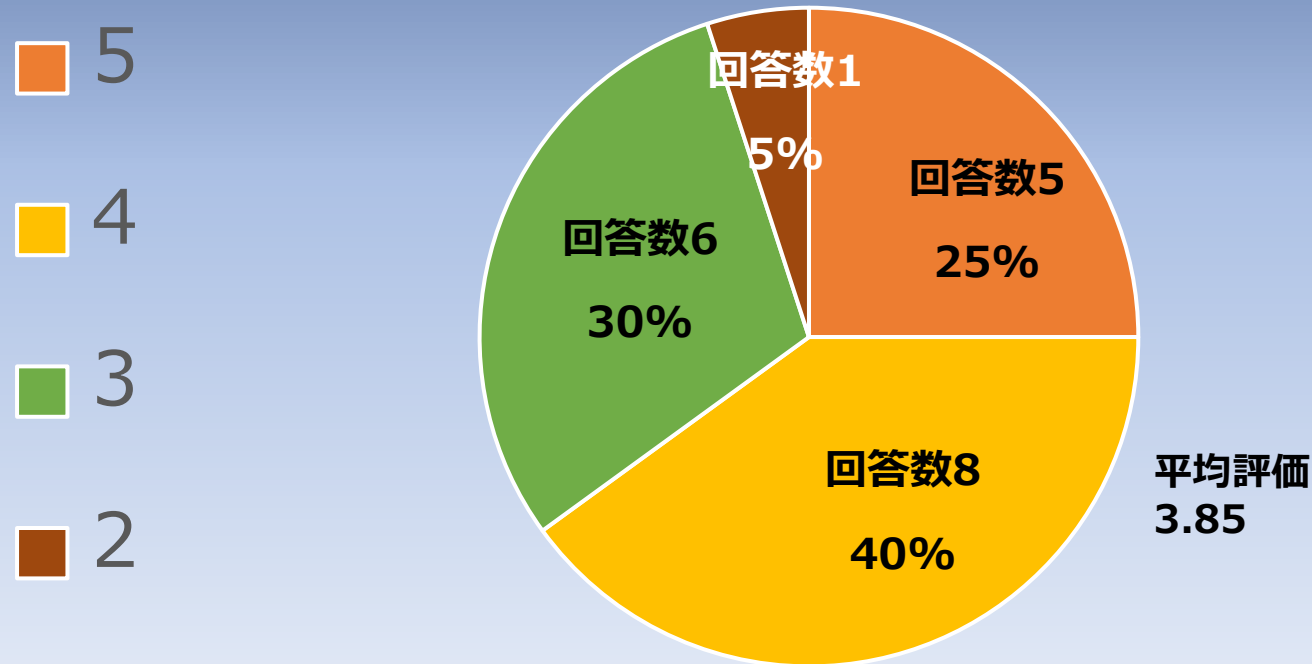
特に、機器分析化学IIはSEM・TEM（電子顕微鏡）を扱いますが、金属の組織観察に非常に有用な観察手段ですが、これを材料コースの学生の殆どが受講しないようなシステムにすることは問題ではないでしょうか。

A：科目名に化学が入っていることからわかりますが、機器分析化学Ⅰ・Ⅱでは化学に関する研究に不可欠な機器（NMR、IR、MSなど）の原理や使用法を化学・生命工学プログラムの学生に理解してほしいため必修科目としています。最近では化学分野でもSEM・TEMも利用する研究者が増えているため本授業でも扱います。現行のカリキュラムではプログラム横断科目としていましたが、内容のほとんどが化学に関する機器であり材料プログラムの学生には負荷が大きいため新カリキュラムでは必修から外しました。もちろん材料プログラムの学生が履修することを妨げておらず、取得単位は自由履修として扱います。

事前アンケートでの評価内容

座学の授業の質に関して

5段階評価（5が一番良い）でいくつですか？



※評価の「1」については、回答なし。

座学の授業の質に関して

Q：教室の学生の席が足りていない授業をたまに目にする。

JABEE認定により授業が厳しくなっている一方で、情報工学科として恩恵を感じることが少ない。

A：受講者数の見込みによって教室を割当てていますが、初回の受講生が予想以上だった場合に教室変更による改善は次回以降になってしまいます。

JABEE認定を受ける前から情報工学科専門科目の単位基準は厳格でした。JABEEのために多くの科目が必修になって厳しいという状況はあります。JABEEの恩恵は、本物の情報工学科の卒業生であることの証明、技術士の第一次試験免除です。技術士資格は企業での出世に役立ちます。

座学の授業の質に関して

Q：コロナ禍以降、講義がすべてスライドな授業が増えたがスライドのみの授業は、板書よりも理解度が落ちると感じる。授業の質が高いだけに勿体ないと思う。また、授業の最後にテストをするのは、短期記憶力のテストになってしまっていて効果がないと思う。

A：板書による授業は、学習者が板書内容を書きとる作業を通して授業を理解するプロセスが含まれるため、理解力向上の点から教育効果は高いことは理解できます。一方、大教室で行う授業では後方の席では黒板の字が見えづらいのと、105分間の授業内容の板書とその書き取りは教員も学生も大変であるため、現実的にはスライドで行う方が望ましいと考えています（もちろん全部の授業をスライドにしないといけなしとは言っておりません）。授業の最後にテストをするのは、授業内容を理解しているかどうかの確認でもあるので、短期記憶力のテストだと一概に言えないと思います。

座学の授業の質に関して

Q：105分授業であるため、余分な時間を点呼や自習時間で埋める行為が一部の授業で見られる。余分な時間ができるくらいなら早めに切り上げてより環境の良い場所で自習したい。105分間絶え間なく聞き続けるような、集中力や意欲を削ぐ授業がある。105分は集中が続かない。

途中休憩や学生側が手を動かす作業のようなものを入れてほしい。

A：105分の使い方についてのご意見と伺いました。ありがとうございます。教員にフィードバックしたいと思います。また、105分13週の授業構成についても皆さんの意見を伺う機会を作りたいと思っています。まずは1年間実施してからと思っていたが、早めのほうがいいかもしれませんね。

Q

105分の授業時間について、いろいろな意見が出ているみたいですが、
実際どう思っていますか？



A



- ・ 授業が早く終わるので研究ができて嬉しいです。（夏休みが増えるため）
- ・ 回数が減るので、カリキュラムが削られていないかという心配があります。
- ・ 105分間ずっと絶え間なく話をする先生もいらっしゃるので、疲れることがあります。
- ・ バスの接続が夜遅くなるとどうしても通勤ラッシュで、遅延しがちになるので、授業が長いので帰宅時間は遅くなります。

A



- ・ 先生方からも多く研究が出来るので嬉しいという意見が出ています。
- ・ 文部科学省も本学の105分の授業に興味を持っています。
- ・ 授業が13回になりますが、その分授業時間は増えているので、カリキュラムが減ることはないはずですが、本年度が初年度という事もあり、先生方も試行錯誤して授業を進めていると思います。
- ・ バスに関しては、接続が悪いというようなことがあればバス会社に交渉をするので、学務に伝えて欲しいです。

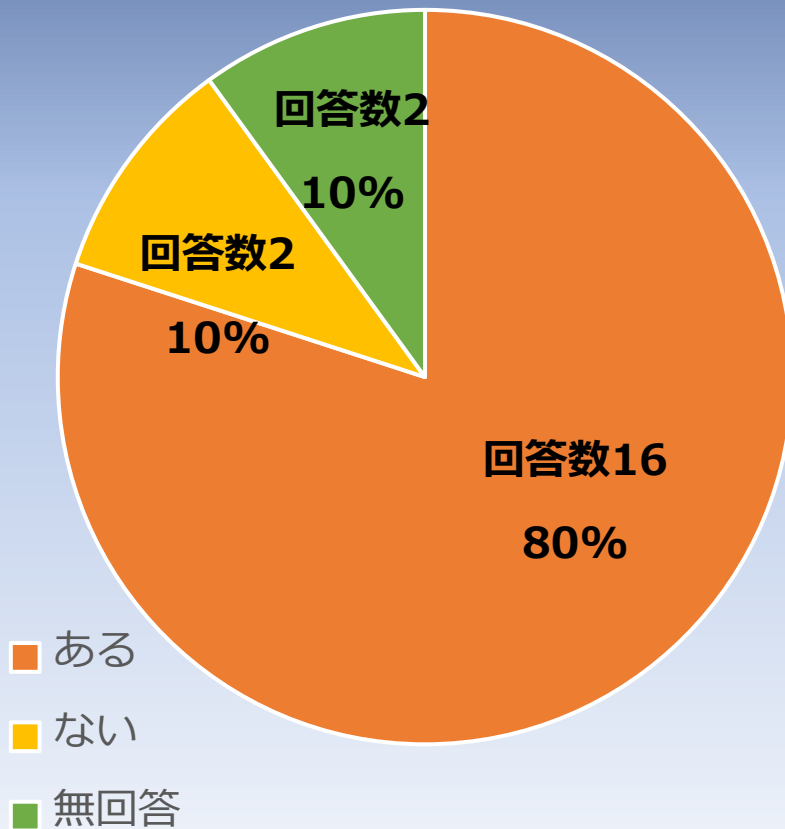
座学の授業の質に関して

Q：テストやレポートの採点結果を返却してほしい。復習の際に役立てたい。授業資料はTeamsでなくmanabaにアップロードすることを徹底してほしい。ロード時間や授業資料確保までの手順の多さの面で会議以外でのTeamsの起動は避けたい。

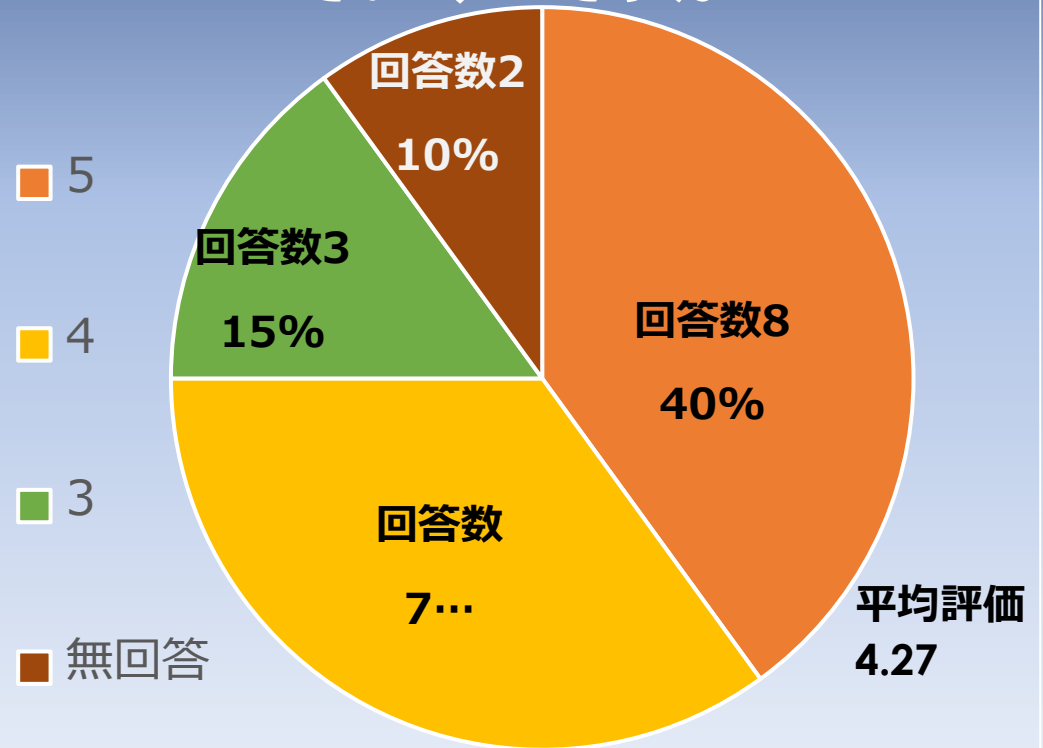
A：学部としては、テストやレポートの返却の可否については授業担当教員にお任せしていますが、ご意見にあるとおり効果的な復習などを促すため返却（と解説）を推奨しています。今後授業担当教員に依頼してください。また、大学としては、授業資料の配布・レポートの回収などはmanabaを使用することを推奨していますので、これもアナウンスを徹底したいと思います。

事前アンケートでの評価内容

実験、演習科目を受講
したことがありますか？



実験、演習科目の質に関して
5段階評価（5が一番良い）
でいくつですか？



※評価の「2」・「1」については、回答なし。
※平均評価に無回答は含まない。

実験、演習科目の質に関して

Q：成績がチームの学生の質に左右されやすいので、各チームの成績が均等となるように振り分けてほしい。

A：チーム構成者については、学生個々人の特性や能力に由来して様々なケースが存在します。すなわち、構成者には様々な特徴を備えた者が多々存在し、単に成績だけで切り分けることは現実的ではありません。また、学生の個性で切り分けることも基準軸がない以上は不可能です。世の中には、雑多な個性が存在することを相互に理解することも将来の社会人として必要不可欠な要件です。

実験、演習科目の質に関して

Q：座学で学習した内容について、実験を通して体感できるのはとても良いが、レポートの負担が大きすぎる。

A：レポート負担については、学生個々人において負担感の度合いが異なるため、これを一律に改善することは直ちには難しいです。また、ある程度のレポートを幾つか経験することは、将来の卒業研究・修士論文、または社会人としての報告書作成などの際にも学生個人の強力な武器となります。実験の負担は、これまで幾度となくカリキュラム改善を経て年々軽くなる傾向にあるのも事実ですが、今後の教務委員会あるいは担当学科の検討事項とします。なお、様々な負担に耐えうる人財に成長することが将来の社会人として重要なことです。

実験、演習科目の質に関して

Q：期間に対して実験量が異常に多く、空き時間を全て費やしても満足できるレポートを作成できないような実験があった。

テストと被ったことで、成績や健康に影響が出た班もあったと思われる。授業外学修時間の目安に沿った実験量に設定してほしい。

A：実験負荷については、学生個々人において負担感の度合いが異なるため、これを一律に改善することは直ちには難しいです。また、ある程度過大な負荷を経験することは、将来の卒業研究・修士論文、または社会人としての報告書作成などの際にも学生個人の強力な武器となります。ただし、テスト期間への配慮は、今後の教務委員会あるいは担当学科の検討事項とします。なお、実験負荷は、これまで幾度となくカリキュラム改善を経て年々軽くなる傾向にあるのも事実です。

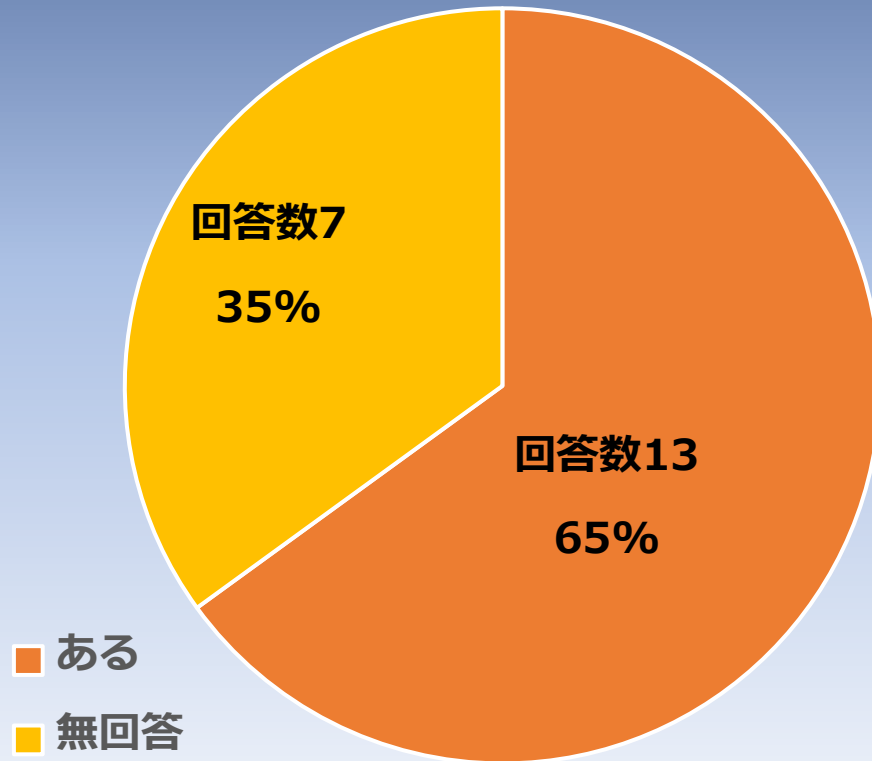
実験、演習科目の質に関して

Q：新カリキュラムから、応用化学プログラムと生命工学プログラムの併合により、化学実験の量が減る。時間のかかる行程や実験を、TAや仮想実験にするなどしてショートカットして経験が不足してしまっているように感じる。例えば、実験において、本当の研究ならば自分で探し出すところ、うまくいく条件が与えられてしまうので、「実験」ではなく、「実習」だと思う。実験の経験数は、ゼミに入ってからの実験量でカバーできるが、特定の分野の実験しか深く行わないことになるため、視野が狭くなり、研究の可能性を狭めているように感じる。実験講義の集中講義化などにより、長時間の実験や試行錯誤が期待される実験を行うことはできないのか。

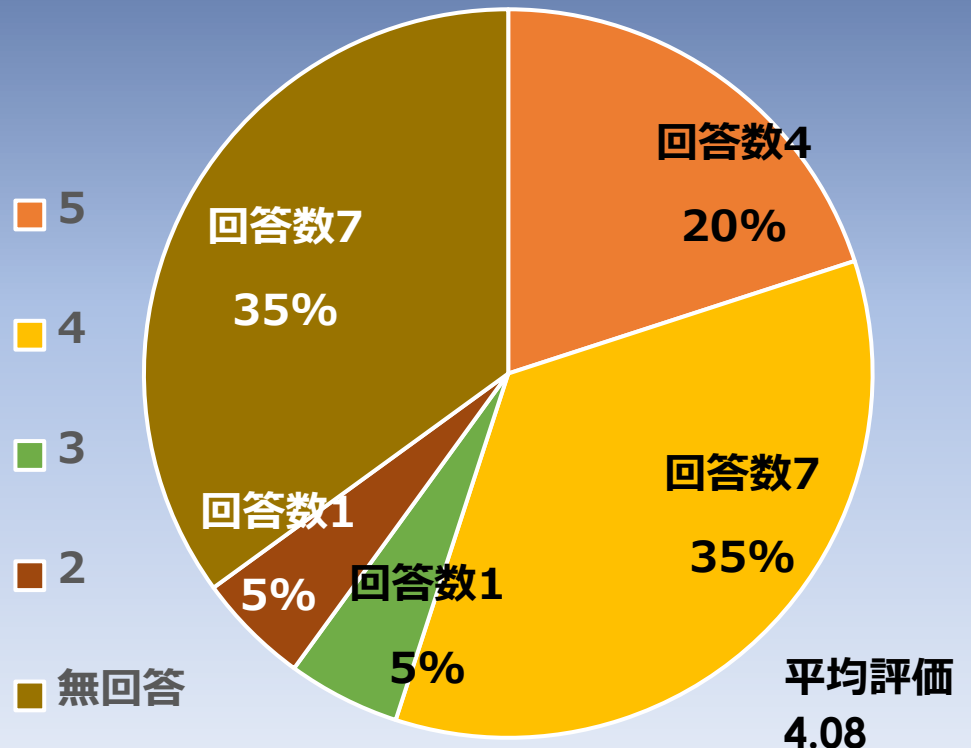
A：現在、2年生の物質科学基礎実験Ⅰ・Ⅱも含めて実験テーマの見直しを行っています。確かに化学系の実験時間数は減りますが、コロナ対応で行っていたオンラインの授業の回数を減らし、実験室での実験の回数を極力増やすようにいたします。集中講義化も一つの方法ですが、夏休みや冬休みであっても学生が必ず出席するという条件が必要となりますので、不可能ではありませんが実現するにはハードルが高いのではないのでしょうか。

事前アンケートでの評価内容

自学自習やグループワーク等を行う学内の施設・設備（ラーニングコモンズ等）を利用したことがありますか？



自学自習やグループワーク等を行う学内の施設・設備（ラーニングコモンズ等）に関して5段階評価（5が一番良い）でいくつですか？



※評価の「1」については、回答なし。
※平均評価に無回答は含まない。

自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：狭いので、試験直前の時期になると席が足りない。

A：今後もキャンパス内にグループワークが行えるエリアを増やしていく方針です。ただ施設整備にはけっこうなお金がかかります。もう少しお時間をください。

自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：机は十分なスペースがあり、静かなのでよく集中できる。ただ、風通しが良すぎて寒い時がある。

A：エアコンの温度設定での対応にも限界がある為、使用の際に服装やひざ掛け等での調整をお願いします。

自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

**Q：利用したい形態によってさまざまな施設が用意されている点が良い点。
図書館のテスト期間以外の土日の営業時間が短いことが懸念点。**

A：現在はテスト期間以外の土日は12:00～17:00まで開館しています。現在の開館時間を決める時に調査した結果、土日は午前と夜間の利用が少ないということが分かったので現在の開館時間になっております。その後、利用傾向に大きな変化は見られていません。今後も利用状況やコストを勘案しつつ開館時間の検討を行ってまいります。

自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：各学科棟に設置されている学習施設を利用する場合、ルールがあるのであれば明確にしてほしい。（例えば、情報工学科棟に設置されている施設は原則情報工学科の学生のみ使用できる。など）

A：各棟内の学習施設については、学科管理のものと学部管理のものがあります。学部管理の施設については、原則として誰でも利用可能です。今後、学部管理の施設については、その旨を掲示した上で、利用法なども明記したいと考えています。



昨年のアフタヌーンミーティング時に、図書館の改修工事が近々あるとお聞きしましたがどうなっていますか？



予算の関係もありますので、文部科学省と相談をして、8年度から9年度ぐらいには取り掛かりたいと考えています。増床、増築はできませんので、水戸の図書館風に仕切りのあるスペースや、グループ学習のできるスペースを作りたいと考えています。図書館と接しているE5棟2階のスペースも、一体的な活用を検討しています。



自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：ラーニングコモンズでは自学自習をしている人が多く、会話をしながら利用しにくい。

飲食しながら自学自習やグループワークができる場所が少ない。

A：図書館のラーニングコモンズはグループで相談しながら学習できる場所、閲覧室学習席は一人で静かに学習する場所、というように区分けしています。ラーニングコモンズは相談しながらお使いいただいて構いません。

その他E1棟多目的ラウンジやE1棟KINYOクリエイティブルームもあります。

※会議・イベント等で使用不可の場合有。

（現在学生が利用できるミーティングスペースの一覧を別途配布します。）

自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：Creative Roomの机やイスが以前より充実したことに関しては、金陽社並びに金陽社に打診を下されたことに感謝です。

A：今後もネーミングライツ事業を利用して、学内の施設を整備していく方針です。

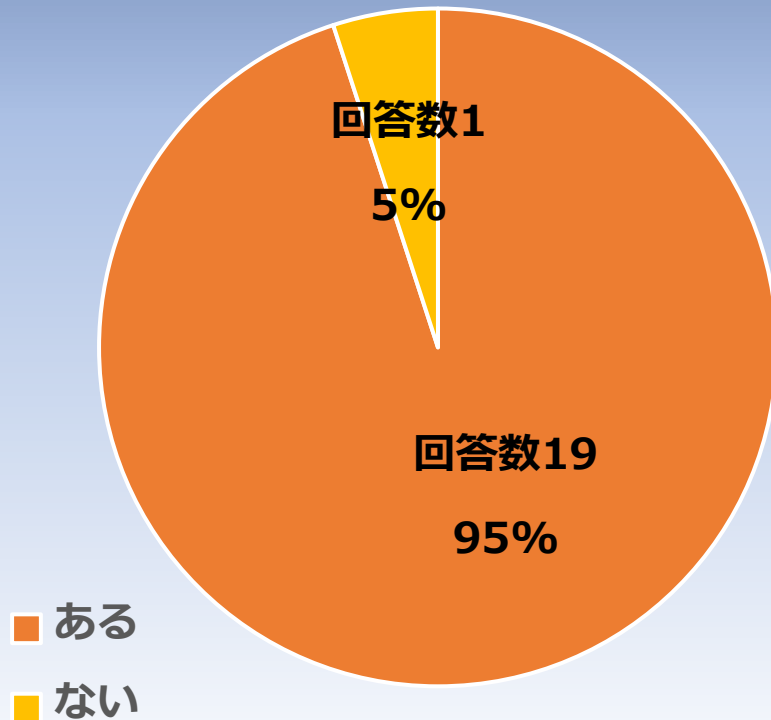
自学自習やグループワーク等を行う学内の 施設・設備（ラーニングコモンズ等）について

Q：個別の仕切りがあるテーブルが少なく、一人で勉強する人の方が多いので仕切りを増やしてほしい。

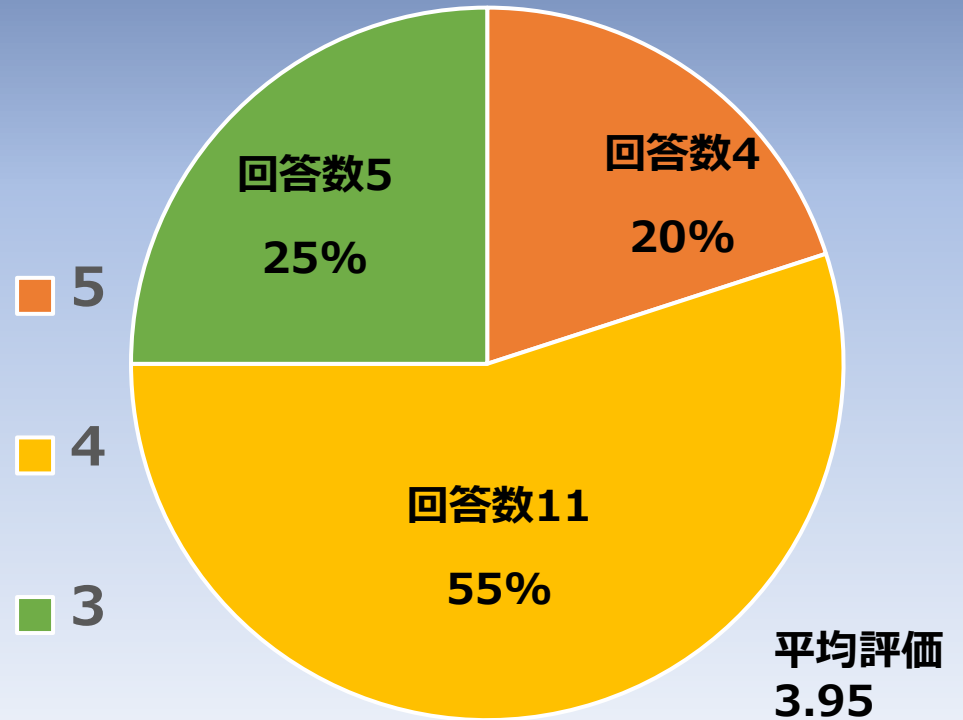
A：自習室の整備の方針については、一度、広くユーザー調査を行ったうえで検討したいと思います。

事前アンケートでの評価内容

学修以外にも利用する学内の
施設・設備（食堂・ラウンジ等）を
利用したことがありますか？



学修以外にも利用する学内の
施設・設備（食堂・ラウンジ等）に関して
5段階評価（5が一番良い）でいくつですか？



※評価の「2」・「1」については、回答なし。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：メニューが豊富であり、席数も多く快適に利用することができるが、食堂が開いている時間が少ないので、夜営業の希望が多いのは存じているが、昼営業の時間も11:30~14:00と短く、混みやすいので昼の営業時間も広げてほしい。

購買が高く、近所のコンビニよりも高いのはどうなのかと思う。

A：メニュー、座席についてお言葉をいただきありがとうございます。皆さまを飽きさせないよう、引き続きローテーションで様々なメニューを提供して参ります。

連日昼ピークは混み合い、ご迷惑をおかけいたします。ご要望いただいた昼営業延長に関しましては、現体制ではすぐの実施が難しいため、今後体制増も含めて検討してまいります。

購買に対してもご意見いただきありがとうございます。「生協＝安い」というイメージを持たれている方もいらっしゃるかもしれませんが、店舗数や仕入れ数が少ない大学生協は、スーパーマーケットやディスカウントストアのような値下げが難しいです。どうかご理解の程よろしくお願いいたします。

大学生協購買部で販売する商品には、近くのコンビニエンスストアより安価な商品が多数ございます。例えば学生さんに人気のグミ、ラムネ、チョコ菓子、お茶、水等、一部の商品は生協の方が単価が安いです（回答日時点）。他にも、COOP商品は生協でしか買えない&安価でオススメです。こちらも是非ご利用ください。

購買部は生協電子マネーのポイントGETキャンペーンを常の実施しておりますので、生協アプリをご活用いただけますといつものお買い物がお得になります。是非ダウンロードしてご利用ください。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：丼もの・おかず系に揚げ物が多く、胃腸が弱い人にとっては麺類以外の選択肢が少なくなってしまう。消化の良いメニューを増やしてほしい。

A：メニューについて貴重なご意見をいただきありがとうございます。

キャンパスの特色上、工学部では揚げ物メニューが人気上位を占めますので、日立食堂では揚げ物多めのメニュー編成としておりました。

今後、海鮮系の丼など、揚げ物以外も提供できるようメニュー編成を検討してまいります。まずは期間限定や数量限定とさせていただくかもしれませんが、あらかじめご了承ください。これからの季節は消化に良いスンドゥブも提供しますので、是非そちらもご利用ください。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：食堂の混雑時は座席が足りない。さらに、袴の試着販売をしている時があり、混雑時の座席が足りなくなる。食堂でやる必要があるのか。

A：昼ピーク時は特に店内が混み合い、ご迷惑をおかけいたします。席数はコロナ禍前ほどに戻っておりますが、食堂ホールスペースの限界もあり、すぐの増席が難しいです。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

袴試着販売を食堂で実施しているのは、学内の学生さんの為というのが一番の理由でございます。キャンパス近隣に袴試着会場が無い為、袴業者様ご協力の元、生協で会場をご用意しております。袴の返却会場も学内に設定しておりますので、試着→お申込→返却まで学内で完結できます。このような事情・理由がありますので、ご理解いただけますと幸いです。

とはいえ、ご意見いただきました通り、展示会実施時はその分席数が少なくなってしまうので、我々の方で相席・離席のお願いを呼びかけてまいります。皆さまにも引き続き混雑緩和対策にご協力をお願いいたします。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：昨年「夜営業を継続実施するための人員体制が整っておりません。まずは期間限定(試験期間中)や、夜営業時間を短く区切る等の対応で実施できないかと考えてはおりますが、お時間をいただけますと幸いです。」との回答でしたが、何か進展はありましたか？

A：再度のお問い合わせをいただきありがとうございます。12/2から夕食営業を再開いたします。長らくお待たせしてしまい申し訳ございませんでした。夕食限定メニューなど、昼とは異なるメニューも提供する予定です。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

***夕食営業12/2(月)開始。営業時間17:20～19:20 ※土日祝・大学長期休業日・生協短縮営業日は閉店**

また、夕食営業再開に合わせてホール開放を実施いたします。

***ホール開放12/2(月)開始。14：30～（14:00～14:30はホール清掃、17:20～19:20は夕食営業を行います）※夜営業閉店日はホール開放も中止いたします。**

学習の場や憩いの場として生協をご活用ください。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：料理が美味しくていつも利用しているが、レジ待ちの時間がもったいなく感じる。混雑時はレジでかなり混むので、入場規制や時間規制などを使用して効率を上げる方法をとれないか検討してほしい。（例：3限にある学生の優先的な案内など）

A：料理についてお褒めのお言葉をいただきありがとうございます。とても励みになります。

昼ピークはレジが長蛇の列となる場合があります、ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。恐れ入りますがご利用いただく皆さまには、前の方との間隔を詰めていただく、お支払いの事前用意をしていただく等、引き続き混雑緩和対策にご協力をお願いいたします。レジ決済スピードは大学生協アプリが最速ですので、どうかアプリ利用にもご協力をよろしくお願いいたします。

ご意見いただいた入場規制や時間規制につきまして、大学はお昼休みが決まっておりますので、限られた時間の中でお客様のタイミングでお食事いただけるよう、現時点で入場規制や時間規制は考えておりません。何卒ご了承ください。

学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q：第二講時の授業が終わってから食堂へ行くとカレーしか残っていない時間があるので、もう少し量を確保してほしい。

A：お昼ピーク時に品切れしていたということで、昼食を楽しみにご来店いただいたにも関わらずがっかりさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。いただいたご意見を部内スタッフと共有いたしまして、ピーク中に品切れすることが無いよう、各メニューの出食数を調整いたします。今後とも変わらぬご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

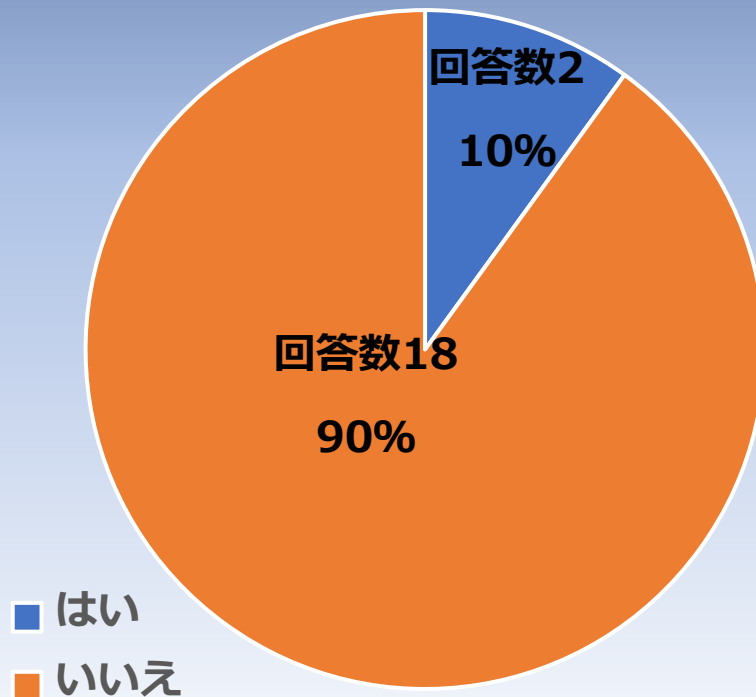
学修以外にも利用する学内の施設・設備 (食堂・ラウンジ等) について

Q : E1棟の多目的ラウンジは、授業の合間の休憩や昼食など、学生にとって大変便利なスペースとなっている。しかし、雨天時や試験期間中は著しく混雑し、利用が困難になる。そのため、代替場所として中庭のベンチを利用することもあるが、夏季は熱中症のリスクが高まるため、より快適な環境が求められると感じた。

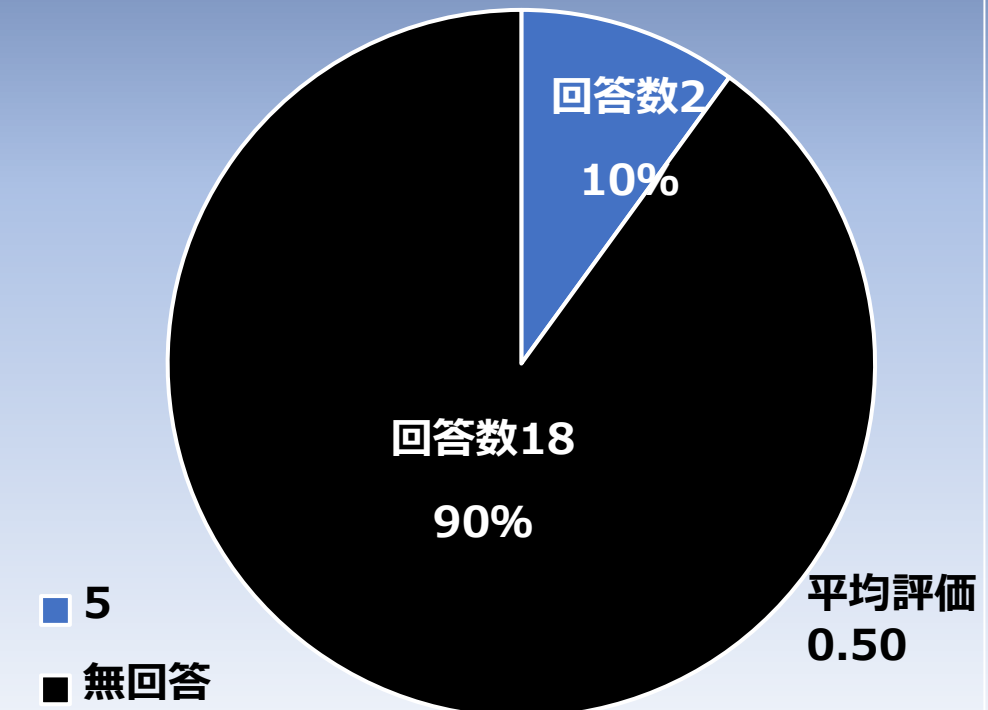
A : E1棟多目的ラウンジは、現在より快適な場所とすべく、一部改修を予定しております。また、代替の場所として、KINYOクリエイティブルームや図書館、食堂のホール（開放時間のみ）やE2棟・S1棟・E5棟・W1棟にあるラウンジもご利用ください。

事前アンケートでの評価内容

なんでも相談室や保健室、
カウンセラー等について
利用したことがありますか？



なんでも相談室や保健室、
カウンセラー等について
5段階評価（5が一番良い）
でいくつですか？

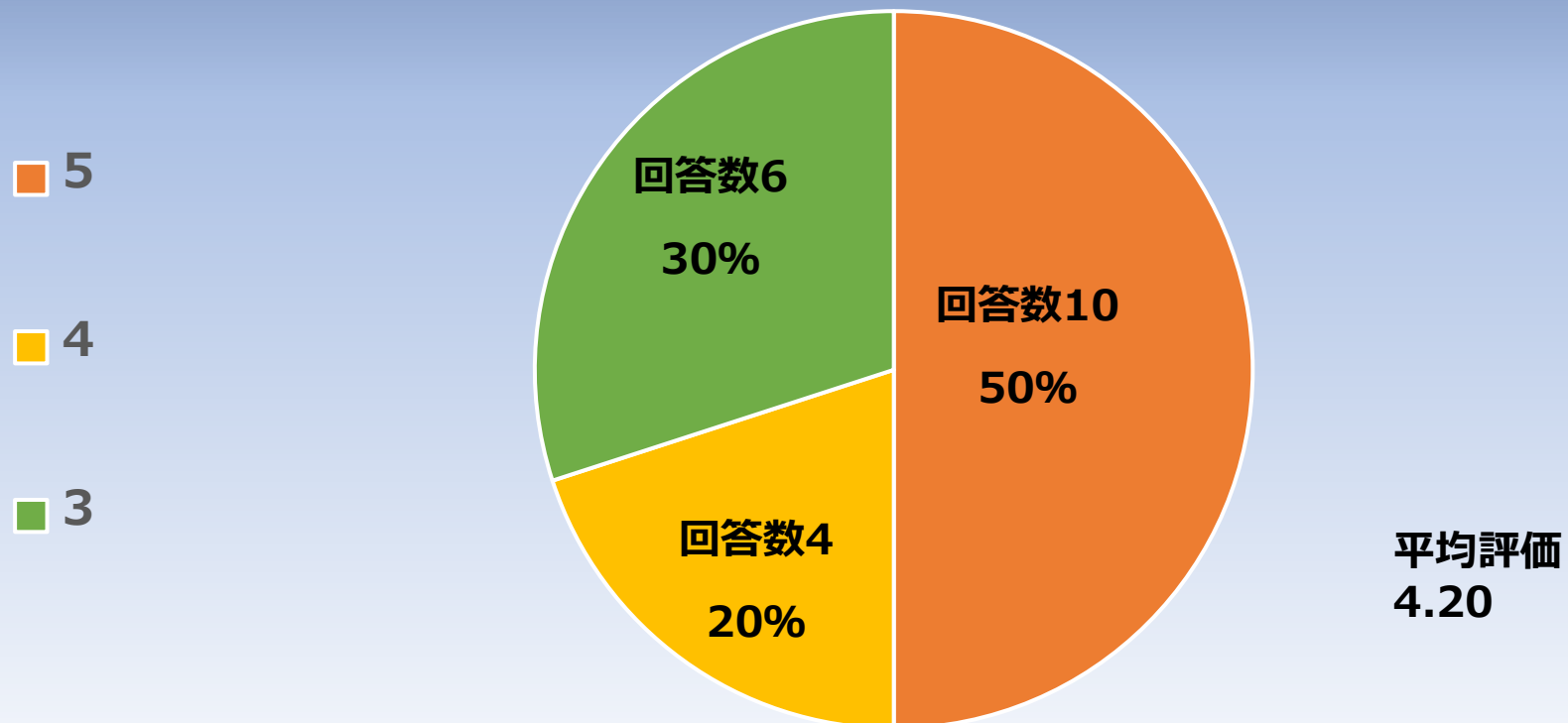


※評価の「4」～「1」については、回答なし。

事前アンケートでの評価内容

担任制度について

5段階評価（5が一番良い）でいくつですか？



※評価の「2」・「1」については、回答なし。 42

Q

就活の早期化長期化についてはどう思いますか？



A

【院生①】学部生の3年のころから業界分析などをしていて、インターンシップで0次選考のような形で早期選考を受けるために、大学院に進学した5月頃から活動をしているので、研究室での配慮がないと活動が難しいです。早期選考で11月頃に企業の内定や内々定を得ることが出来れば研究がその後できるかと思うので、研究室やキャリア支援室などのサポートが欲しいです。



【院生②】学部4年次に就職活動を行わず大学院に進学した場合、研究と並行して就職活動を行うことになりますが、その際にエントリーシートを書く段階で、どのような企業を志望するかが明確になっていないという問題があります。大学院進学が決定し、時間に余裕のある学部4年次後半などに、キャリア支援室で「就活業界分析講座」のようなプログラムを開催していただけると良いのではないかと思います。

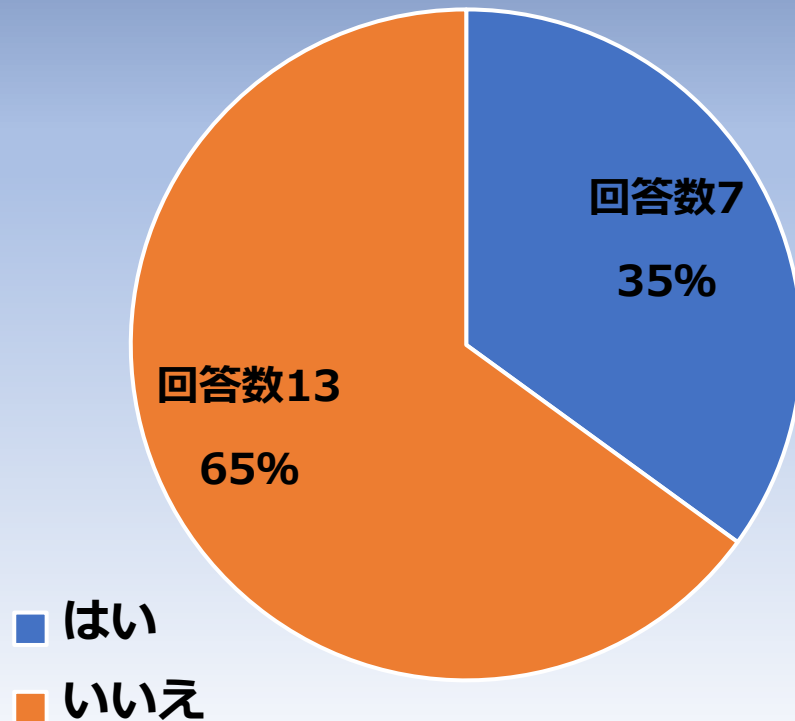
A

研究室の中で、研究や学会発表などの様々な経験を積んでから就職してほしいという考えがあります。学生の就職支援は行いますが、研究にもしっかりと取り組んでほしいと考えています。

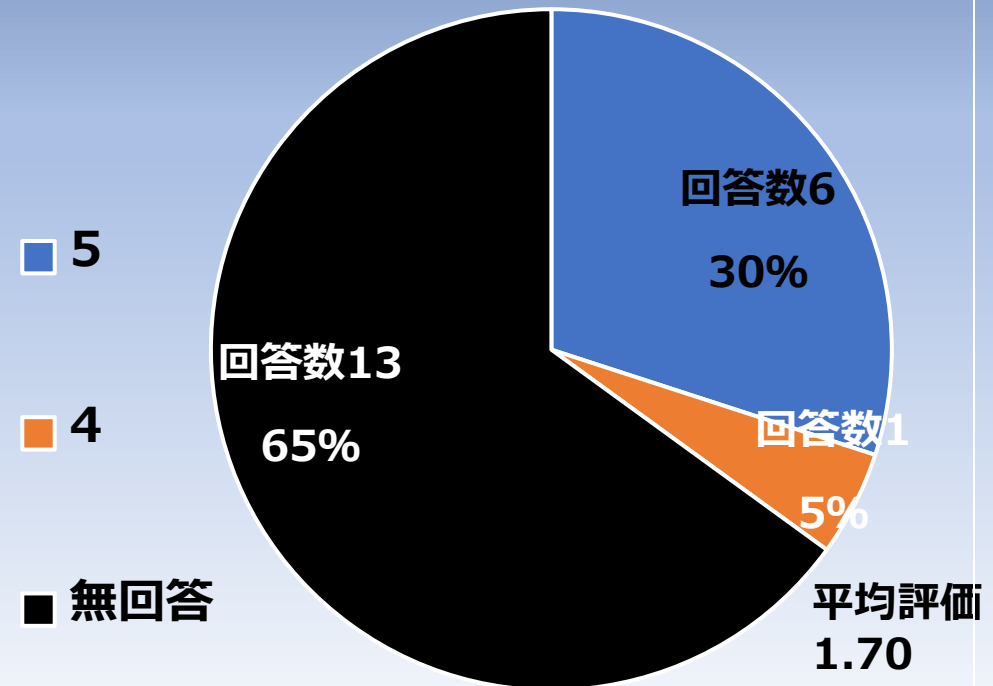


事前アンケートでの評価内容

キャリア支援室について
利用したことがありますか



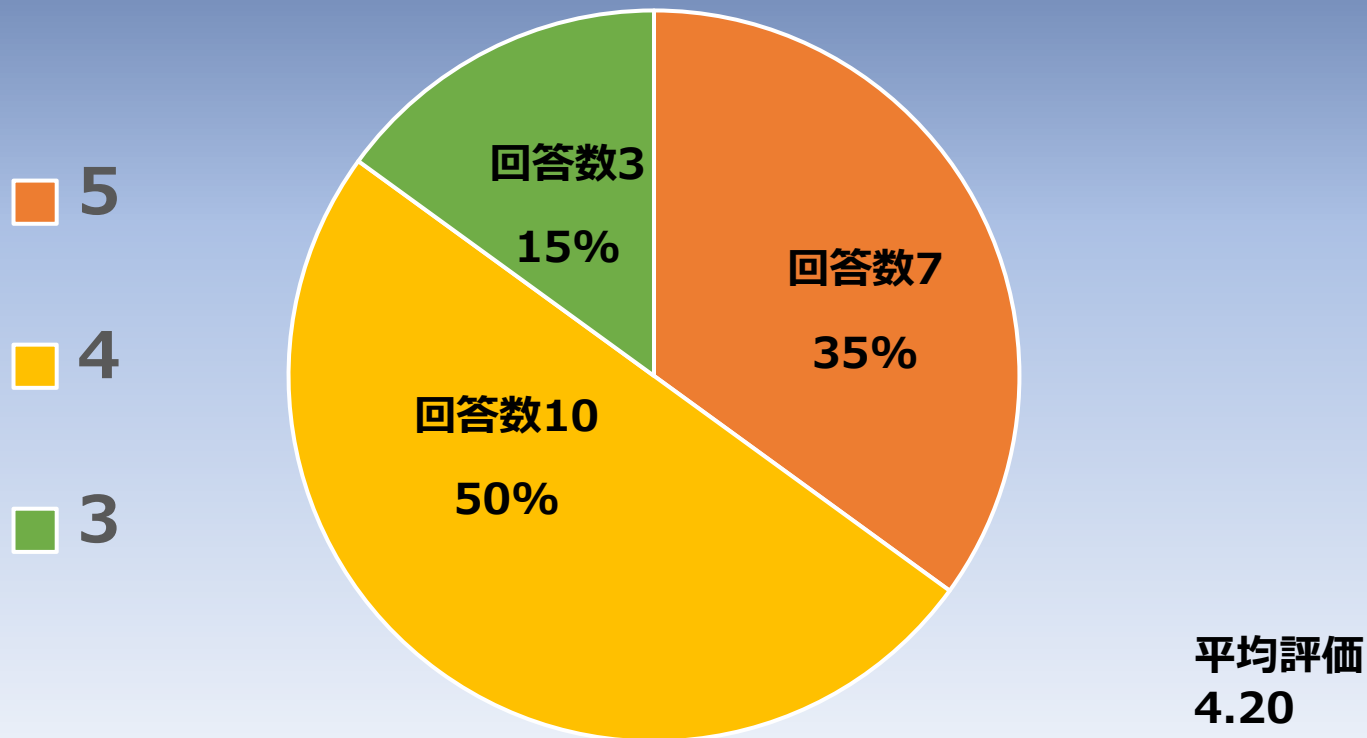
キャリア支援室について
5段階評価（5が一番良い）で
いくつですか？



※評価の「3」～「1」については、回答なし。 44

事前アンケートでの評価内容

教員の質に関して5段階評価
(5が一番良い) でいくつですか？



※評価の「2」・「1」については、回答なし。 45

教員の質について

Q：大学という学術機関にも関わらず、産学連携に力を「注ぎ過ぎている感」がある先生がいらっしゃるようです。「最近は自分の研究テーマを持たないで、メーカーとかとの共同研究だけをやっている」と三年生の科目の授業中に豪語されている先生もいらっしゃいます。この考えはよいのでしょうか。

A：特に問題ないと思います。一般的に大学の先生がメーカーの方と連携する場合は、先生は自身の専門分野の中で、学術的な観点から研究テーマを設定し、共同研究を推進します。

教員の質について

Q：全体として指導力の高い教員が多いと感じているが、一部アカハラの噂もあり、自浄作用が無い。

A：全学の方針としてハラスメントは容認しません。もしハラスメントに遭遇した場合には、是非、なんでも相談室等に通報をお願いします。ご指摘の自浄作用になっているかどうかは分かりませんが、ハラスメントは加害者側が意識せずに行っている場合がほとんどです。被害を受けた方が是非声を上げてください。その声を必ずすくい上げ、是正していく考えです。

Q

アカハラに関する講習などはおこなっているのでしょうか？



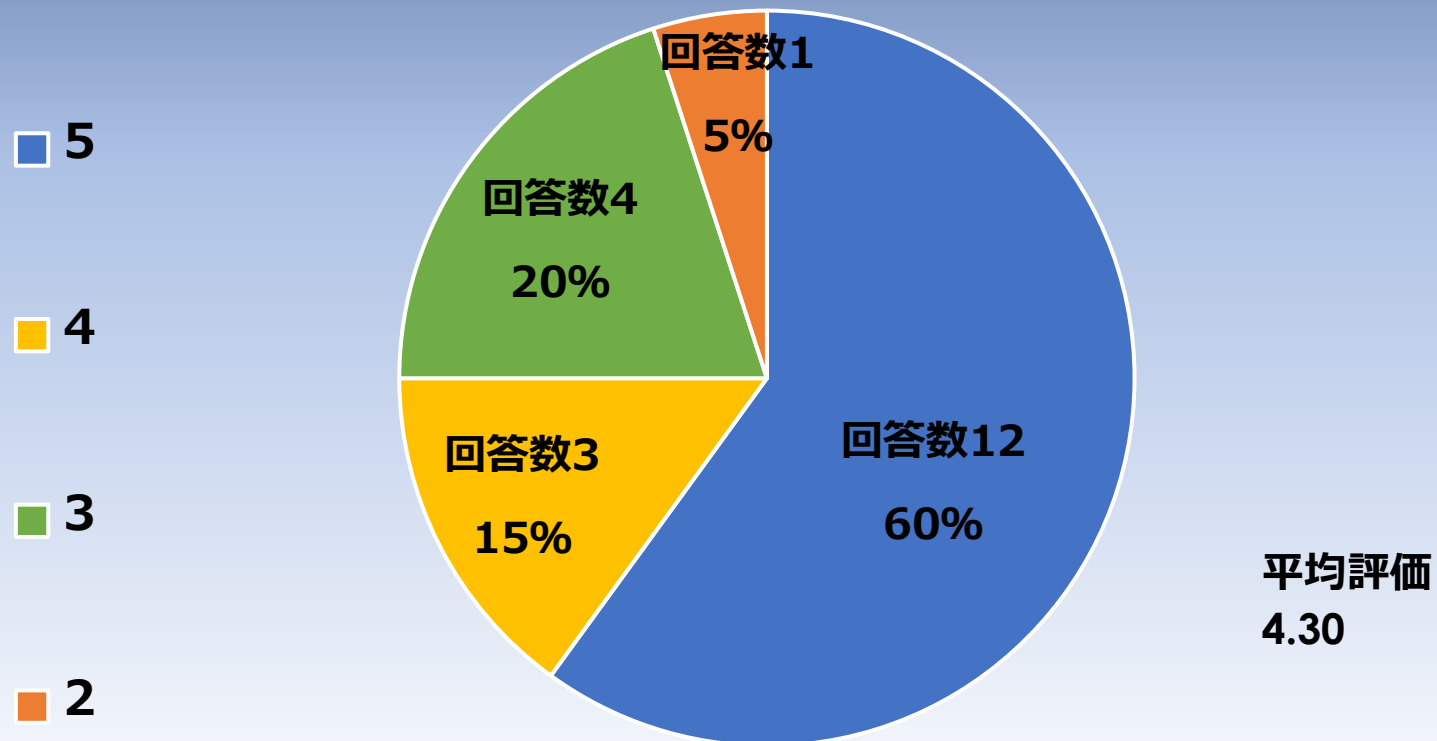
A

アカハラだけではなく、パワハラ、セクハラなどの
ハラスメント全般の講習を教職員全体を対象対象に毎年実施しています。



事前アンケートでの評価内容

事務職員の質について5段階評価
(5が一番良い) でいくつですか？



※評価の「1」については、回答なし。 49

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：体育館を借りられるのはうれしいが、卓球台を購入してほしい

A：体育館の倉庫スペース（空きが無い）が限られていることや、予算の都合上、購入は厳しいです。

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：キャンパス内に木が多く、大量に落ちている木の実を踏まないと通れないため、木の実がつぶれて臭かったり、汚れたりするため木の実を清掃してほしい。

A：清掃は行っているのですが対応が間に合わない状況だった為、昨年度体育館前のイチヨウの伐採を行いました。これである程度改善されるかと思っています。

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：生徒が自由にプロジェクターの設備を使える場所が欲しい。

A：研究発表等の練習のことを考えると学生が自由に使える，プロジェクターを備えた空間を用意することが適切と思われます．

※図書館のグループ学習室にプロジェクターが使用できる場所有

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：夜間営業の施設を増やしてほしい。

A：生協が12月から夕食営業を開始することになりました。さらに夜遅くの場合には、正門横のコンビニの利用をご検討ください。

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：就職活動などにおけるオンライン会議や面接を行うための場所が不足しており、不便を感じている。E1棟1階にオンラインブースがひとつあるが、本選考に限り使用可能で、音漏れも気になり利用しづらい。もっと気軽にオンライン会議や面接を受けられる個室を増やしてほしい。

A：学生が就職活動に使う設備を学内にどの程度整備するかは、難しい問題です。少し考えさせてください。なお、オンライン会議や、6～7人程度のグループ利用に適した空間を増やすことについては、前向きに検討したいと思います。



就職活動をしているが、インターンシップや就職面接をする場所がなく、家にいちいち帰るのは大変なので、面接ブースのようなものの設置ならば、大規模な工事なしで設置できるので、検討をしてもらいたいです。
ラウンジにあるものは、学務に鍵を借りに行ったりする手間がかかるので、オンラインで予約などはできないのでしょうか？また、貸出の条件が厳しいのでもう少し幅を広げてもらいたいです。



現在も面接ブースの貸出しがいっぱいになるような状態ではないので、もっと使用してもらいたいと思います。優先順位を作るために、貸出しの条件は作りました。鍵については、現在はオンラインでの貸し出しは難しいので、学務に借りに来てもらいたいです。面接ブースは今後増やしていく予定です。



現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：施設の故障箇所（トイレの便器使用不可、または手洗い場の故障など）についてどのような優先順位で進めているのか。半年放置されている箇所があったりするので、いつ頃修理予定かなど、わかり次第掲示するなどしていただければと思う。

A：前年度から故障箇所の見積後に予算要求する形となり、修理にお時間頂きご迷惑をお掛けしている所です。故障箇所の修理予定については施設管理までお問合せ頂けると助かります。

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：Wi-Fiが2024年度後期より変更されたが、講義中に講義資料のダウンロードや必要なWebページ閲覧などにおいて、接続時の回線速度が以前よりも重いと感じるが増えた。なぜ重くなっているのか、今後の改善策などを示していただければと思う。

A：2024年9月更新のeduroamで10月初旬に大規模な不調が顕在化しました。現在(11月11日)でも完全解決には至っていません。新たに導入したWi-Fi6規格システムの詳細設定を含む複合的な要因があるようです。接続不調を確認した場合は日付・時刻と教室番号を情報戦略機構へご連絡ください。ご協力に感謝します。



学内のWi-Fiについてですが、現在は改善されているのでしょうか？



以前と比べて改善されてきていると認識していますが、問題の根本的な原因がまだ特定できていないため、段階的に改善を進めていく予定です。



現在の日立キャンパスの施設についての要望

**Q：試験期間の図書館の開館時間を伸ばして欲しい。
また、通常の期間も朝の開館時間早めて欲しい。**

A：工学部分館は平日は8:30～21:45まで開館しています。本館や農学部分館は20:45までなのでそれらより1時間長い開館時間となっております。以前に開館時間を決めるために調査した結果、現在の開館時間となっております。その後、利用傾向に大きな変化は見られません。今後も利用状況やコストを勘案しつつ開館時間の検討を行っていきたいと思います。

現在の日立キャンパスの施設についての要望

Q：E1棟の学部のラウンジがジメジメしており、空気が澁んで感じます。過ごしていて心地が良くないです。部屋全体的が臭い気がします。尚、通路を挟んで反対側のCreative Roomに関しては、非常に快適で、過ごしやすいです。明かりの取り方や家具の配置、壁の色など、風水の改善をお願いしたいです。

A：壁の塗装等ラウンジの改修について検討しております。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：ジム、シャワー室を設置してほしい。

A：シャワー室はサークル棟にあり、課外活動団体に所属していれば、申請することで利用することが可能です。

また、工学部にジムを設置する趣旨が不明です。大変申し訳ありませんが検討に値しないことをご了承願います。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：土日も裏門を開けてほしい。

A：裏門については無人のため，土日の開放については保安上の不安があります．現在，学生証で開門する形にできないか検討しています．

Q

裏門の話ですが、無人を有人にすることは出来ないのでしょうか？



A

予算の関係で人件費がかかるので難しいです。





S2棟の4Fにある製図室に、土日も学部生が入れるようにすることは出来ないのでしょうか？



大学としては教室としての位置づけではないので、課題等に使用する目的で開放する予定はありません。学科ごとにこのような教室を使用したいという場合がありますので、希望が多ければ、検討を行いたいと思います。



その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：前年度、S1棟前の大木の枝が折れたが、あれ以降保守性に不安があるので一度ちゃんと調査してほしい。

A：枝が折れた後、造園業者を入れて剪定を行っております。今後定期的に伸び過ぎた枝の剪定を行いたいと思います。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：有料の論文などを見れるようにしてほしい。

A：既に幾つかの論文データベースが利用可能になっています。以下の2つのWEBページより現在利用可能なデータベースを確認できます。

<https://www.lib.ibaraki.ac.jp/search/kensaku.html>

<https://www.lib.ibaraki.ac.jp/search/e-journal.html>

Q

海外留学について、興味はあるでしょうか？



A



- ・発展途上国の短期研修等が多いと思います。先進国の科学技術等には興味がありますが、発展途上国だと、汚い、水が不安等があり、行く意味があまり見出せません。また、大学から金銭的な補助があると良いと思います。
- ・言葉の壁と、治安が不安です。ヨーロッパや先進国にはアジアンヘイトが色濃くあるイメージがあるので、行きたくないという気持ちがあります。

A



現在オーストラリアのプランを考えていますが、生活費が高い国なので、やはり費用としては高くなってしまいます。

発展途上国（ベトナムやインドネシア）は日本と違って活気があり、成長をしている国なので行って欲しいと思います。費用も安く、治安は先進国より良いと思います。

毎年ベトナムに短期留学の派遣をしていて、金額も5万円です。海外を経験すると人生観が変わる可能性があるのでは是非参加して欲しいと思います。



学部時代に行きたかったという気持ちはありますが、
留学に行く＝卒業が遅れる（短期留学ではない限り）という
イメージがあり、どうしてもそこがネックとなってしまいます。
他大学の友人は卒業が遅れることなく、半年間の留学をしたので、
工学部にもこのような制度があるといいのですが…。



今年から3.5年で卒業する制度が出来たのでそれを活用して
半年の留学に行くことは出来ると思います。
時間的には厳しいものがあるとは思いますが、休学して
オーストリアのウィーンなどに留学する学生もいます。
就職の際に留学での留年が不利益になることは、ほとんど無いので、
是非留学に挑戦して欲しいと思います。



学長の進めるDPルーブリックについて、Diploma Policyを知っていますか？

DP=Diploma Policy（5つの茨大型基盤学力を指す）

DP1：世界の俯瞰的理解＜世界を見わたす＞

DP2：専門分野の学力＜道を究める＞

DP3：課題解決能力コミュニケーション力＜ともに答えを導く＞

DP4：社会人としての姿勢＜社会人として生きる＞

DP5：地域活性化志向＜地域と向き合う＞

例えば、修士1年生の方は、学部四年間でDP1～DP5を達成しましたか？学部生の皆さんは達成中だと思いますが、DPについてどう思いますか？出来ていなければ駄目というものではないのですが、このような授業があつたら良いな等ありましたらご意見をお願いします。



地域活性化思考に関する授業は、やっぱり名物授業の茨城学ぐらいしかなく、それ以外にあるとすると、5学部混合地域PBLくらいで、定員も20～30名程度と少ないが、履修する学生も少ない授業です。そのため、積極的にこのような科目を履修するように学部レベルで推進することが必要だと思います。工学部のある日立は工業系の会社が多い特色ある地域でもあるので、そのような企業と連携して授業を行うとかできれば地





就職活動を行う中でDPについて、この力は身に付けておく必要があると感じたものはありますか？



課題解決能力については、就職活動において必要になる能力だと思います。工学部でこの能力を身につけられる授業があるとすると、1年次の大学入門ゼミと実験しかないというイメージがあります。実際に就職活動でこのような能力を発揮しなければならない場面に直面した場合、他大学と比較すると不足していると感じることがあります。そのため、授業の中でグループワークを増やしたりすることで、実際に就職活動をする際に役立つと思います。



エントリーシートを書く際にも、「課題解決能力を身につけました」と記載しますが、実際にどのような成果を上げたのか、具体的な詳細を質問されると明確に答えることが難しいです。就職活動の時期が早まっているため、学部時代の授業において、このような能力を実践的に習得できる機会を設けていただき、就職活動で活用したいと考えています。



工学部における課題解決能力は何か。この解釈は教員や学生によって異なると思います。そのため、授業の中で、「この授業ではこのような力が身に着く」ということを明確に伝えられることが重要だと考えています。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：教務情報ポータルの移行からおよそ1年半が経過したが、使いにくい機能や欲しい機能などの改善が必要な部分を、Dream Campusを使っていた世代がいなくなる前にアンケートとして募集してみるべきではないでしょうか。（改善点例：ロードが長い、時間割をホーム画面に設定したい、メール配信の設定を細かく設定したい、IOSで履修成績照会が横スクロールできない）

A：教務情報ポータルに限らず、新しいシステムを導入する際には長い時間（数年ぐらい）をかけて、機能の継続性を含む使い勝手の向上を目指して議論していますが、いつもだいたい一番大きな条件（価格と予算）で決まってしまうようです。つまり、新システムの使い勝手については学生さんのみならず教員も常に不満を持っています。質問や意見は随時受け付けておりますので、学科の教務委員の先生や学務グループに聞いてみてください。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：授業時間の変更で受けた影響や感想をアンケートとして募集してみるべきではないでしょうか。

（例：課外活動への影響、105分授業を受けると集中できない。）

A：はい、そう考えています。時期は1年ぐらい過ぎてからと思っていましたが、早めたほうがいいでしょうかね。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：科目によっては合格率が3割程度の科目もあったようですが、そのような場合何か教員への対応はあるのでしょうか。

A：授業担当教員は、シラバスガイドに沿ってシラバスを書き、それに従って授業を行い、授業アンケートを行い、成績評価を行い、最後に授業点検を行うよう指示されておりますが、その中に「何割以上合格させること」などという指示はありません。しかし、入試を受けて一定のレベルをクリアした学生さんがことごとく不合格になるという授業には何か問題があるのではという意見もうなずけます。これらについては、各学期末に学科・専攻で開催される教育改善委員会（学科FD）で議論されることになると思います。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：履修案内の冊子に時間割コードが記載されていないことで、シラバスの参照が非常に大変なため改善してほしい。

A：履修案内には入学生が4年間に学修する（予定の）科目が掲載されていますが、開講される科目とその時間割は毎年同じ時間帯に開講される訳ではないため、工学部のホームページにあります「授業科目一覧及び授業時間割」（茨城大学工学部→在学生の方→授業→履修案内・授業時間割→2. 授業時間 の欄）を参照し確認してください。この一覧表に時間割コードが併記されています。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：下の学年が上の学年に気軽に質問できるようなサービス（質問したい内容と答えられる学生をマッチングするようなもの）があると良いのではないか。例えば、今後の学修について上級生の意見を聞きたいときや、講義の内容について確認するとき、研究室配属などの情報収集したいときなどに利用できると、交流も深まるので良いのではないかと感じる。

A：学生さんの間の縦のつながりも非常に重要と思っています。学生さんが中心となって活動する機会もあると思いますので、そのような場を活用してほしいと思っています。また、工学部で何ができるのか検討したいと思っています。



日立には学友会がなく、こうがく祭や課外活動などが、学生主体ではなく、職員が主体になっているのはなぜでしょうか？学生間で教えあったり縦のつながりなどがそのせいでないように感じる。水戸は学友会があって、ある程度の仕組みを作って学生が管理をしています。



工学部も以前は学生が主体で実施していたが、学生も忙しいため、徐々に担い手が減少しました。その後、コロナ過があり、どうしても学生だけでは管理が出来ない時期があり、現在の制度に移行しました。学生がメインで管理してくれると本当は良いと思いますが、学友会という組織がどの程度必要なのかは現段階では検討が必要なところです。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：このミーティングが「教員から推薦を得られた学生しか参加できない」という点です。推薦された学生の意見だけを取り入れるのは間違いです。「工学部・理工学研究科工学野の学生ならば誰でも参加できる権利を持つミーティング」という性質を崩すべきではなかったと思います。

A：工学部の学生評議会は学内でも初の試みで、皆様のご意見を取り入れながら改善していく考えです。ご指摘を踏まえて、今後、参加者への門戸を広げていく方向で考えていこうと思います。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：このアンケートの特記事項に記載されている一文が気になります。

>アンケートの質問事項に関する回答は、後日キャンパススクエアや工学部のホームページで一部公開します。

公開に適さない内容は除き、要望や質問と取れる内容は全部公開すべきです。それが大学と学生間の信頼だと思っています。

A：ご指摘の通りと考えます。なお「一部公開」の主旨は、「公開に適さない内容は除き、要望や質問と取れる内容は全部公開する」ということです。今後はもっと適切な書き方にしたいと思います。

その他、工学部・理工学研究科への意見 や要望

Q：お金に「余裕」のある研究室と、「余裕」のない研究室の落差がひどすぎる。コンピュータだけで研究が成り立つ研究室や、実験消耗品が著しく少ない又は安価な研究室が、試薬などの実験消耗品が非常に多い研究室と同じ条件で配分されるのは平等なのか？と疑問に思います。

研究室の年間研究予算別に研究室別配分割合を変える等、予算の分配方法に工夫が必要なのではないでしょうか？

A：研究室の予算は、（１）国から来る交付金に基づいて、大学が配分する予算（教育用と研究用）と（２）教員自身が獲得する外部資金に分かれています。（１）のうち教育用については、学生間の公平性を考え単価が決まっています。（１）のうち研究用は極めて少額で、実験系とソフト系で差をつけるほどの金額ではありません。（２）の外部資金ですが、獲得金額の３割は大学予算に回っており、それらが学部環境整備等に使われています。私たちは国からの交付金の増額を求めています。日本の厳しい財政状況を考えると、容易ではないと考えています。